**第3学年1組　国語科学習指導案**

**1　教材名**言葉を分類しよう

**2　本時の学習指導**

（1）目標

　〇進んで言葉の分類をしようとしている。

　〇言葉の意味や使い方などの特徴に着目し、言葉を分類することができる。

　（2）評価規準

|  |  |
| --- | --- |
| ア　国語への関心・意欲・態度 | オ　言語に関する知識・理解・技能 |
| 様々な言葉を分類したり、他者の分類の仕方に関心を持ったりしている。 | 語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。 |

（3）展開（〇は指導上の留意点　------------内は評価を表す）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導・援助と評価の創意工夫 | 時間 |
| 1　生き物を仲間分けしよう。2　本時の学習課題をつかむ。どんな言葉の分け方があるか考えよう。3　教科書p.68の「分類」の意味が書かれている部分を読む。4　言葉カードを使って、言葉を分類する。個人で考えた後、数名が発表する。[予想される児童の答え]・文字数で分類した。・漢字がある言葉と漢字がない言葉で分類した。・人が行う言葉とそうでない言葉で分類した。5　「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」という観点から分類し、理由をノートに書く。[動き]立つ・すわる・書く・投げる・走る・守る[様子]うれしい・くやしい・赤い・青い・悪い・悲しい・大きい[物や事]学校・ノート・音楽会・ボール・遠足6　問題を解く。7　本時のまとめを行う。[予想される児童の答え]・動き・様子・物や事で分けることができた。・意味で分けることができた。 | ・生き物の分類・本時の学習課題・「分類」の意味・言葉の分類（自由）・言葉の分類（観点を決めて）教科書p.70の問題・本時のまとめ | 〇自由に生き物の分類をして、仲間分けの意識を持てるようにする。〇新しい単元に入ることを押さえる。〇学習課題を提示し、本時の目標を明確にする。〇「分類」とは、「同じ特徴を持つもの同士をまとめ、いくつかの集まりに分けること」ということを確認する。〇児童一人一人の分類の仕方を尊重し、他の児童の考え方の良さに気付けるようにする。〇いくつの集まりに分類しても良いと伝えることで、自由な発想ができるようにする。〇分類が難しい言葉は無理に分類しない。〇「動き・様子・物に分類した」という考えに近い発表をした児童がいた場合、その発表を取り上げて次につなげる。〇何を表すまとまりなのか、どういうところに着目して分類したのかについて説明できるようにする。国語への関心・意欲・態度（態度による考察）　言葉の意味の違いに着目して分類したり、いくつかの分類のしかたを試したりしている。他の児童の分類のしかたを尊重している。〇どういうところに着目すれば、動き・様子・物や事に分類できるか考える。〇児童の発表を用いて、学級全体で考えを共有する。〇文法的に正しく分類しているわけではないため、児童の発表を尊重しながら分類する。言語に関する知識・理解・技能（ノートによる考察）　言葉は、何を表しているかによって分類できることを理解している。〇手が止まっている児童の手助けをする。〇本時で分類した3つの集まりをふり返り、言葉は何を表しているかによって分けられることを理解する。〇分類によって特徴をつかむことができるため、今後の学習に役立つことが分かる。〇「分類」の意味を再確認し、まだ他にも分類のしかたがありそうなことに気付く。〇次回の学習について伝える。 | 2’5’3’10’10’7’5’ |

**3　備考**在籍児童数35名

**4　準備するもの**

〇生き物カード（児童用）

〇言葉カード（児童用・黒板用）：立つ・すわる・書く・投げる・走る・守る・うれしい・くやしい・赤い・青い・悪い・悲しい・大きい・学校・ノート・音楽会・ボール・遠足

**5　板書計画**

|  |
| --- |
| 言葉を分類する　　　　↓同じ特ちょうを持つものどうしをまとめて、いくつかの集まりに分けること。◎どんな言葉の分け方があるか考えよう・漢字がある・カタカナ・文字数・人のこと・気持ち・物、学校の行事→いろいろな分類のしかたがある。→何を表しているかによって分類できる。動きを表す言葉立つ　すわる　書く　投げる　走る　守る様子を表す言葉うれしい　悲しい　くやしい　赤い　青い　悪い　大きい物や事を表す言葉学校　ノート　音楽会　ボール　遠足まとめ言葉は、何を表しているかによって分類することができます。例えば、動きを表す言葉、様子を表す言葉、物や事を表す言葉があります。 |